

海外安全対策情報（平成26年10月～12月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシでは反体制派による集会やデモが定期的に行われており、ベラルーシ当局との衝突や参加者が拘束されるケースも発生しています。不測の事態を避けるため、集会やデモに興味本位で参加したり、近づいたりすることは控えてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2014年1月1日から12月31日までのベラルーシにおける犯罪総数は93,932件で、昨年同時期と比較し2.8%減少していますが、犯罪別で見ると増加しているものもありますので、引き続き注意が必要です。また、未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

| | |
|--------------|--------------------|
| ア 窃盗 | 40,528件（前年比12.6%減） |
| （うち住宅対象侵入窃盗） | 10,305件（同10.3%減） |
| イ 公然窃盗 | 2,171件（同11.7%減） |
| ウ 恐喝 | 141件（同45.4%増） |
| エ 詐欺 | 4,074件（同21.1%増） |
| オ フーリガン犯罪 | 2,880件（同33.8%増） |
| カ 殺人及び殺人未遂 | 438件（同6.8%増） |
| キ 重傷傷害 | 926件（同7.9%減） |
| ク 強盗 | 289件（同7.1%減） |
| ケ 強姦及び強姦未遂 | 141件（同0.7%増） |

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2014年10月～12月における主な被害事案は以下のとおりです（当地の報道から作成）。

ア 10月1日、ショッピングセンター「ジャスチエ」のベルスイスバンク両替所窓口に強盗が押し入り、受付の女性が人質に取られる事件が発生した。特殊部隊の出動により人質は解放され、男は救急車で搬送された。

イ 10月9日、ミンスク市にて、オーストラリア人女性が、衣類、鞆、書類、金銭等総額6,000,000ベラルーシ・ルーブル（約412米ドル）の車上荒らしにあった。車を停めていた駐車場には警備員はおらず、車は施錠されていなかった。

ウ 10月17日、同月10日より行方不明だったミンスク市在住の女性が遺体で発見された。この事件の犯人の男はすでに逮捕された。

エ 10月23日、ミンスク市にて、男が店のガラスを割っているとの通報を受けて警察が現場に向かったところ、暴漢はすでに店内へ侵入し、客を脅していたため、その場で拘束された。

オ 10月30日、ヴィテプスク州オルシャ市にて、武装した強盗が逮捕された。犯人は店員に強盗であると言い、売上金を要求した。店員達が冗談だと思っていたところ、犯人は拳銃を取り出し、2発を宙に、1発を店員の足に発砲した。店員からの通報を受け、警察は鉄道駅で犯人を逮捕した。犯人は防弾チョッキを着用し、拳銃2丁と爆発物を所持しており、拘束される際に警官に向かって5発発砲した。

カ 11月1日、ミンスク州にて、燃えている家屋の中で男性とその同居人の女性の遺体が発見された。遺体には暴行の跡が見られた。事件は現在捜査中である。

キ 11月3日、ベリスキー通りの店にて、2人の若者が44歳の男性を暴行した。犯人は2人とも拘束された。

ク 11月3日、ミンスク市在住の男女がクラブ帰りにタクシーを使用したところ、行き先に着いたところで、運転手から乗車時に合意した額より2倍程度高い料金を請求され、車内に監禁された。

タクシーを運転していた女性運転手はミンスクに戻り、知人男性と合流した後、乗客を暴行し、約200,000ベラルーシ・ルーブル（約13米ドル）とパスポートを奪った。その後、さらに金品を奪おうと、当初の目的地であった被害者自宅に再び戻った。被害者は隙を見て警察に通報をした。

現在、犯人の女性運転手と男性は公判中で、男性についてはフーリガン行為で逮捕された。

ケ 11月13日、深夜1時頃、ミンスク市内の建築現場にて、2人の男が警備小屋に向かって爆竹を投げていたため、警備員が注意したところ、男性達は同警備員に対してエアガンで4発発砲した。近くにいた建築労働者2人が警備員の救助に向かったところ、男らはその建築労働者らに対しても発砲し、スタンガンを使用した。捜査の結果、犯人は23歳と25歳の兄弟と判明し、彼らの住居にて拘束された。

コ 12月7日、クラスノエ村の鉄道駅「ウシャ」の待合室にて、複数の刺し傷の見られる死体が発見された。被害者は住所不定無職のトルクメニスタン生まれの男性で、過去に逮捕歴があった。その後の捜査によると、被害者は5日深夜にプラットフォームにて、酒に酔った現地住民と口論となり、ナイフで刺されたことが分かった。犯人はすでに拘束された。

サ 12月24日、午後10時頃、ミンスク市にて、若者グループと男性2名が口論となり、若者グループのうちの1人がナイフで刺され、救急車の到着前に死亡した。犯人は逮捕された。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述事案は全体の一部の情報です。定期的に報道等を確認し、自身の安全確保に努めてください。